

交流情報誌

季刊

# 新 往来

第11号 2003 12.18

編集・発行 農林水産省農村振興局農村政策課

## 第11号の内容

わがまち自慢

わがまちの旨いもん

私達、輝いています

Let's 農業

アンテナショップ情報

わがまちのユニーク施策

イベント情報



### 自然と歴史と心のふるさと

「四万十川源流点のむら」高知県東津野村

東津野村は、高知県の西北部に位置し、日本最後の清流と呼ばれる「四万十川」の源流点や四国カルスト県立自然公園の「天狗高原」など、多くの自然資源に恵まれたのどかな山村です。感動的な水辺の情景が随所に展開する村。その代表格である「四万十川源流点」は、四万十川の水脈であり、うっそうと生い茂る原生林の中でほとぼしる水の姿は実に感動的です。また、村の北部にある四国カルストは日本一の規模を誇り、最高峰の「天狗高原」からは360度のパノラマが楽しめます。晴れた日には四国山脈の尾根の連なりや峰々はもちろんのこと、南方には足摺岬から室戸岬、北方には瀬戸内海までが一望できます。頂上付近には天狗の森と呼ばれ、四国カルストの全容が眺望でき、眼下に広がる高原一帯はなだらかな起伏を成して石灰岩が点在、幻想的な景色を見せてくれます。天狗高原には、宿泊施設「高原ふれあいの家 天狗荘」が2002年3月にリニューアルオープンし、地元の新鮮な素材をふんだんに使った季節料理と四国カルストを一望できる大浴場が自慢です。東津野村でのんびり、ゆったりしてみませんか。

農林水産省ホームページ内に、[農村振興局農村政策課のページ](#)を作成しました。都市と農山漁村の共生・対流など様々な情報を掲載しています。また、新往来に提供していただいた情報も掲載しておりますのでぜひ一度お立ち寄り下さい。 [農林水産省ホームページ http://www.maff.go.jp](http://www.maff.go.jp)

# 第11号掲載記事一覧

## わがまち自慢

… 3

- 琥珀色の道標 (岩手県久慈市)
- 宮城蔵王に新観光スポットが誕生 「白川コスモス園」 (宮城県白石市)
- 微生物による大地再生への挑戦！ (岩手県山田町)
- お風呂から見える夕日は最高！ (新潟県三和村)
- 田植えから手がける地酒づくり 川崎酒遊米倶楽部 (神奈川県川崎市)
- 名水の里に新しい農文化の基地がオープン！ (山梨県長坂町)
- 不思議！ 千葉県に大つらら！ (千葉縣市原市)
- 「そばの里莊川」がオープン (岐阜県荘川村)
- 若杉天然杉 (岡山県東粟倉村)
- 霧の海 (広島県三次市)
- 「縄文文化」に学ぶまちづくり (福井県三方町)
- コウノトリと共生する水田づくり (兵庫県豊岡町)
- 平成の城普請「大洲城天守閣の復元」 (愛媛県大洲市)
- 余部(あまりべ)鉄橋 (兵庫県香住町)
- 『鎮西町の宝』玄界国定公園波戸岬、特別史跡名護屋城跡 (佐賀県鎮西町)
- 一心行の大桜 (熊本県白水村)
- 棚田が美しい番所 (熊本県菊鹿町)
- 越後よしかわ道の駅・まちの駅 (新潟県吉川町)
- 幻？の名産「チリメンカボチャ」 (愛知県大治町)
- -海を臨む古墳群- 房の沢古墳群出土品の保存と活用 (岩手県山田町)

## わがまちの旨いもん

… 9

- 竹の子けんちん (青森県碓ヶ関村)
- 地元農産物を活用し、安全で美味しいおふくろの味 (埼玉県鳩山町)
- クルミの生産量 日本一！ (長野県東部町)
- ふるさとの味！芭蕉コンニャク (三重県大山田村)
- 伊吹の里 (滋賀県伊吹町)
- リアスのまちから (大分県津久見市)
- 西門川の新名物「自然薯とむかご」 (宮崎県門川町)
- しっかり食べんさい！ (広島県湯来町)
- 由良の媛っこ地鶏 本当の綾子丼 (愛媛県内海村)
- かあちゃんたちの手づくりの味 (佐賀県唐津町)

## 私達、輝いています

… 12

- 「しそ遊び」で美しく (青森県車力村)
- 西浦マーケティンググループ「みかんの花」 (静岡県沼津市)
- 私たちのつくる「五目ちまき」 (新潟県川口町)
- 「おんさい工房」へ気軽におんさい！ (岐阜県明智町)
- 農業にかける情熱 (兵庫県篠山市)
- 手作りの「山里せんべい」 (高知県安芸市)

## Let's 農業

… 14

- 農業後継者対策「新規就農者研修施設 =めざせプロ農家のリーダーを=」 (滋賀県米原町)
- 「風の子」農業小学校 (愛媛県野村町)
- 八山会(会長・上田敏広さん)発足 (熊本県菊鹿町)
- 学校演習林で生き生き体験 (千葉県茂原市)

## アンテナショップ情報

… 15

- 姉妹・友好都市アンテナショップ「麦わら帽子」 開店2周年大感謝祭 (東京都武蔵野市)
- 手作り工房 風花(かざはな) (岐阜県八幡町)
- 十和村の産直活動 (高知県十和村)

## わがまちのユニーク施策

… 16

- ふるさと創生資金を自治会に分配 「まいはらまちづくりほっとプラン」 (滋賀県米原町)
- 「高齢者にやさしい有償運送システムについて」 (岐阜県宮川村)
- 松尾百笑(ひやくしょう)村 (福岡県立花町)
- 一区一輝運動 (熊本県玉名市)
- 綾雛山まつり (宮崎県綾町)

## イベント情報

… 18

平成16年1月から平成16年3月までの期間に全国各地で開催が予定されているイベントの情報。

### お知らせ

第12号からは、オーライ！ニッポン会議の活動状況等に関する情報を提供します。

オーライ！ニッポン会議では、都市と農山漁村の共生対流を進めるための様々な活動を行っています。

このコーナーでは、全国で唯一のもの、自称日本一のもの、是非知ってもらいたい活動や人等市町村からの自慢情報を紹介いたします。

## 琥珀色の道標

## 岩手県久慈市



みなさんは「琥珀」という名の、美しいタイムカプセルをご存知でしょうか。琥珀とは、長い年月をかけて樹脂が固まり、その時代の空気や虫たちを閉じ込めた自然の宝箱です。その宝箱は、映画「ジュラシックパーク」のなかにも登場します。琥珀の中に閉じ込められた恐竜の血を吸った蚊。その蚊からとった遺伝子をもとに恐竜を現在に再生させる。映画では良い結果にはなりませんでした。この夢のようなお話は、理論的には可能なのです。どうですかみなさん。わくわくしてきませんか。どきどきしてきませんか。琥珀が発する太古の浪漫。透かしてみると遙か昔の情景が今にも飛び出てきそうです。

久慈市は、日本随一の琥珀の産出量を誇ります。その産出量は世界でも4本の指に入るほどです。毎日が浪漫との出会い。日本唯一の琥珀専門博物館で、誰でもその浪漫に触れることができます。琥珀のアクセサリー作りや採掘体験。他ではできないことがここ久慈市で体験することができるのです。

琥珀のまち久慈市。ここに住む一人ひとりが、思い出という名のきれいな琥珀を持っています。大事なものを閉じ込めた宝箱。みなさんも宝箱を作りに来ませんか。きっと、今みなさんには道標が見えていることでしょう。その琥珀色の道標に従って、ぜひ琥珀のまちにいらして下さい。 <http://www.kuji.co.jp/>

## 宮城蔵王に新観光スポットが誕生・・・「白川コスモス園」

## 宮城県白石市



みちのくの名峰・蔵王連峰のふもとに広がる人口4万の都市、白石。「独眼竜」伊達政宗公の傳役として仕えた片倉小十郎景綱公が居城とし、平成7年に復元された白石城をはじめ、魅力あふれる名所が数多くあるこの城下町に、「白川コスモス園」という新たな観光スポットが誕生しました。

「白川コスモス園」のある白川内親（しらかわうちおや）地区は白石市北東部に位置しています。昨年、地元の内親青年部（部長 佐藤好一）が、米の生産調整の一環として白石川沿いの水田約7.0ヘクタールに、2,100万本ものコスモス（品種：センセーション）を作付けしています。

低温、日照不足により昨年に比べ開花時期が遅れましたが、9月下旬から10月まで、蔵王の雄姿を背景に、水田一面に咲き誇るコスモスを楽しむ

ことができました。

来年はコスモス園内でのイベント等により更にパワーアップし、来園される方により楽しんでいただける空間を創造していきます！ <http://www.city.shiroishi.miyagi.jp/>

## 微生物による大地再生への挑戦！

## 栃木県茂木町



茂木町有機物リサイクルセンター「美土里館」が平成15年4月にオープン。美土里館では、生ごみ、牛ふん尿、もみガラ、落ち葉、おがらを混ぜ合わせ有機質肥料「美土里たい肥」を作っている。このプラントから生まれるたい肥は、5種類の原料がうまく調和し、作物のうまみを作り出す微量元素（ミネラル）が豊富で、多量の有益微生物により105日異常じっくり発酵させた良質なたい肥である。発酵途中では、白い微生物群（放線菌）が厚い層を作っているのが目に見える。発酵状態が良いので、このたい肥センターは臭くないとの専らの評判。毎日20トンの原料をいれているけれど3トンぐらいいし製品が出てこない。良質なものは大量には作れない。9月からようやくたい肥の販売を始めた。臭いもなく、サラサラで扱いやすい。バラ売りで1トン4000円、袋詰めは36リッターで400円。野菜、果樹、園芸農家など毎日トラックでたい肥を買いに来る。一度使ったらもうやめられない。何度でも買いに来る。口コミで利用者が増え製造が間に合わない。全国ではじめて、行列のできるたい肥屋さんが誕生するかもしれない。人と自然にやさしい農業はこの「美土里たい肥」を使うことから始まる。

http://www.town.motegi.tochigi.jp/

## お風呂から見える夕日は最高！

## 新潟県三和村



三和村の東部丘陵地にある観光施設“米(マイ)パラダイス”には、地酒の試飲ができる「米と酒の謎蔵」、眺めがすばらしい空中風呂と木のぬくもりを活かした宿泊施設「ホテル米本陣」、パーティーやミドルステイにもご利用いただける「ログハウス」、地元産コシヒカリのレストラン「味の謎蔵」、明治17年開湯の「ひなた荘」、森林浴に最適の「薬師いこいの森」があります。

特に、薬師いこいの森までの林間歩道を散策して、展望台から頸城平野の大パノラマを一望した後、ホテル米本陣の空中風呂で汗を流して、冷やが美味しい地酒で喉を潤し、地元の食材を生かした四季おりおりの山海の幸で空腹を満たし、太陽が沈む頃合いを見計って雄大な夕焼けを見ながら再びお風呂に入るコースは心と体のリフレッシュに

お勧めです。

雪解けに咲くすいせん、田植後の田園を吹き抜ける風、黄金色の稲穂が波打つ頸城平野、村をすっぽりと包み込む雪景色。三和村の“ただ、そこにある自然の美しさ”の中で、やすらぎの時をお過ごしください。

<http://www.mypara.co.jp/>

## 田植えから手がける地酒づくり 川崎酒遊米倶楽部

## 神奈川県川崎市



川崎酒遊米(しゅうまい)倶楽部は神奈川県主催の異業種交流会「生活彩業フォーラム」の交流の場で、農家と酒店店主らが「川崎の地酒を自分達の手で造りたい」と呼びかけて2年前に発足しました。

川崎は「工業」のイメージが強いですが、実際には川崎北部には田んぼや畑が残っており、その川崎の田んぼで酒米を造り、田植えから草取り・収穫・酒蔵見学という体験型イベントを、農家、蔵元、商店、飲食店、サラリーマン、主婦、子供達と一緒にを行っています。

収穫祭は毎年120人以上の参加者があり、刈り取った田んぼの上でコンサートを開催し、子供から大人まで様々な人達の自然を通じた交流の場となっています。

みんなで力をあわせて出来た地酒が辛口の日本酒「田ゆう」です。現在は残念ながら100%川崎産米ではありませんが、100%川崎産米の地酒を目指しています。お問い合わせは たけくま酒店 044-522-0022 まで

[http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/syokan/ryuki/saigo\\_2.htm](http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/syokan/ryuki/saigo_2.htm)

## 名水の里に新しい農文化の基地がオープン！

## 山梨県長坂町



八ヶ岳の南麓は湧水の宝庫です。中でもその水量の多さとユニークな分水升で有名な三分一湧水の近くに、10月「三分一湧水館」(さんぶいちゅうすいかん)がオープンしました。この施設はそば処、農産物の直売所、湧水の資料館という3つの顔を持ち、特にそば処と直売所は、地域の村おこしの会の皆さんが奮闘しながら運営しています。名水と地元でとれたそば粉を使った手打ちそばは、すでに「三分一の味」として定着しつつあります。直売所では、新鮮な野菜のほか、味噌や漬物、ブルーベリージャム、よもぎもち、クッキーなどの手作り食品や色あざやかな、花苗、ドライフラワー、竹炭、ハーブ製品などが並び、地域ならではの味・地域ならではの品々がお客様に喜ばれています。町で運営を行っている資料館では、湧水の自然や地域の人々との関わり、周辺の歴史などが展示され、名水の里の

文化を訪れる人々に伝えています。今後は、味噌作りやジャム作りなどの体験教室や、水や環境、農村文化をテーマにした講座などを開催していく予定です。ここに暮らす人、訪れる人が皆、名水の里の恵みを体感できるような、そんな、農村文化の基地を目指していきます。 <http://www.yatsu.gr.jp/ngs/sanbuichi/>

## 不思議！ 千葉県に大つらら！

## 千葉県市原市



千葉県の市原市と大多喜町にまたがる養老渓谷。その北部の市原市側に位置する梅ヶ瀬渓谷。この渓谷は、川幅4.5mという浅瀬の両側に高さ30～50mはある梅ヶ瀬淵と呼ばれる浸食断層が約2.5kmにわたって見られ、その地層のすき間から1年を通して湧き水がしたたり落ちている。これが冬になり、氷点下の朝が何日か続くと、長さ1mくらいの大つららに成長する。つららスポットは何箇所があるが、梅ヶ瀬渓谷後半の長さ約80m余りの大絶壁に出現するつららが最大のポイント。1月上旬から2月上旬にかけて、このつららを写真にとろうとカメラマンが早朝から訪れる。撮影の後は、養老渓谷温泉郷の温泉が冷えた体を温めてくれる。

つららの状況など問合せ先：養老渓谷観光協会（角屋商店）0436-96-1108 <http://www.yoroikeikoku.com>

## 「そばの里荘川」がオープン

## 岐阜県荘川村



そばの観光施設「そばの里荘川」が今年春にオープン。

国道158号沿いの敷地には、直径13mの日本一の巨大な五連水車や直径2.2mの石臼がある水車小屋、そば打ち体験施設、それに食事処「ふれあい」などが並ぶ。

そば打ち体験施設は、1階がそば食堂「心打亭」とそば道場、2階が資料館。「心打亭」では、巨大石臼で挽いたざるそば800円からそばのメニューが揃っている。「そば道場」でのそば打ち体験は、荘川そばの会員で支配人の川原靖司さんなどが指導。1セット（2～3人分）は1,800円。打ちたてのそばがその場で味わえるほか、持ち帰りも出来る。要予約。

「資料館」では、パソコンでそばについて学べるほか、そばの道具類が展示してある。そば道場・資料館は、10:00～16:00。「心打亭」は、11:00～売り切れまで。月曜日定休。TEL05769-2-3103

## 若杉天然林

## 岡山県西粟倉村



岡山県でも屈指の森林浴スポット、西粟倉村「若杉天然林」。氷ノ山後山那岐山国定公園の特別保護地区で、標高1,200m、面積83ha、地元の人々は若すぎの原生林と呼んでおり、県下3大河川の一つ吉井川の源流となっています。また、中国地方でも代表的な自然の宝庫で、岡山県で唯一「森林浴の森日本百選」にも指定されています。生い茂る天然樹林の中にはブナ、カエデ、ミズナラなどの巨木をはじめ199種もの植物が確認されており、ヨダカやヤマネなどの珍鳥、珍獣の絶好の生息地となっています。3kmと5kmの遊歩道を歩くと、圧倒されるほどの緑のグラディエーションで、カラフルな虫や鳥がかれんな姿を見せ、聞こえてくるのはせせらぎと鳥の声だけ・・・まるで別天地の気分が味わえます。また近くを走る林道ダルガ峰線は、知る人ぞ知る絶景スポットで

す。<http://www.vill.nishiwakura.okayama.jp/kousha/yama/map05.htm>

## 霧の海

## 広島県三次市



四周を山々に囲まれ、市内で三つの川が合流する川どころ三次盆地では、秋から早春にかけて朝早くから深い川霧が立ち込め、長く上空をただよって「霧の海」となります。霧の海から突き出た山々の頂きは大海に浮かぶ島に似ており、張りつめた空気を揺らす風に流され千変万化するその様は天下の一大奇観です。また、霧の彼方から悠然と浮かぶ朝日と、徐々にそのオレンジ色の光に染められていく霧の海の様子は、見るものの心まで明るく照らすかのような神々しさを感じさせてくれます。荒々しい外海のように霧がうねる日もあれば、内海のように穏やかな表情を見せてくれることもあります。「霧の海」は、様々な気候条件が微妙に融合して、その日、その時にしか見ることのできない刹那的で神秘的な自然造形美といえます。

市内では、高谷山、岡田山、岩屋寺からの展望がすぐれており、見るたびに異なった表情を見せる景観を撮るために毎年、多くの写真家が訪れその腕を競っています。<http://www.city.miyoshi.hiroshima.jp/>

## 「縄文文化」に学ぶまちづくり

## 福井県三方町



### 烏浜貝塚

三方町烏浜にある遺跡で、1962年から10次にわたって発掘調査が行われ、土器や石器、動物の骨のほか、日本最古の丸木舟や漆塗りの櫛など20数万点に及ぶ貴重な資料が出土。わが国における縄文時代の学説やイメージを根底から覆す画期的な役割を果たしました。

烏浜貝塚の特徴の一つは、遺跡形成の期間の長さで、草創期(約12,000年前)の土器から前期(約5,000年前)の貝塚が断続的ながらほぼ各時期の遺物が出土していることです。もう一つの特徴は、遺物包含層の大部分が標高0メートル以下という低湿地性遺跡であったため、丸木舟や櫛などの木製品や縄、ヒョウタンといった植物性遺物がき

わめて良好に保存されていたことにあります。

### 縄文博物館

三方町では、烏浜貝塚などから出土した遺物を通じて縄文時代の技術・暮らし・文化を紹介するとともに、「循環と共生」を実践した縄文文化を全国発信しようと、世界でも初めての「縄文博物館」を平成12年に開館しました。初代館長には、「縄文文化は日本の基層文化である」と主張されている哲学者の梅原猛先生にお引き受けいただきました。今年度は特別展として、「縄文人 岡本太郎展」を開催したほか、東京都立大学の協力を得て丸木舟の完全復元に取り組み、9月19日～20日に開催した「縄文シティサミット」並びに「縄文まつり」の企画として進水式を行いました。

## コウノトリと共生する水田づくり

## 兵庫県豊岡町



コウノトリが姿を消して32年、国内最後の生息地だった兵庫県豊岡市で、コウノトリを再び野生に帰す取り組みが進んでいます。飼育コウノトリの試験放鳥が平成17年度からはじまることを受け、良好な生物環境を再生し、安全・安心な農産物の生産とともに、コウノトリの餌場を創出するため、今年度からコウノトリと共生する水田づくりを始めました。

水田づくりは、モデルとなる水田を選定し、2つの方法で、水田が本来もっている自然力を再生するための技術の確立を目指すものです。一つは転作田をビオトープ化して常時湛水状態を保つ方法、もう一つは、稲作田で、中干しを延期したり、冬季間湛水したりす

ることによってオタマジャクシの変態や冬の間の水鳥の餌場を確保するというものです。得られた知見や成果は、周辺の農地へ拡大するために活用します。

また、この取り組みの大きな目的の中に、農家の人自身が、生きものに興味を持ち、水田が持っている多面的機能を認識してもらうこともあります。そのため、作業日誌の記載や学習会への参加、市民団体や行政が開催する環境学習・調査への協力など様々な方法、様々な人々との交流により、コウノトリと共生する水田づくりに取り組んでいます。 <http://www2.nkansai.ne.jp/toyooka/kounotori/>

## 平成の城普請「大洲城天守閣の復元」

## 愛媛県大洲市



大洲城は、鎌倉時代末期に築かれた中世城郭が始まりと言われている。やがて、豊臣秀吉の天下統一に向け、四国が平定されると小早川隆景の支配となる。その後、秀吉の家臣である戸田勝隆、藤堂高虎が相次いで城主となり、関ヶ原の戦いの後、1609年には洲本から賤ヶ岳七本槍の一人、脇坂安治が大洲に入城する。この頃、四層四階の天守閣を中心とした本格的な近代城郭が整備されたのではないかとされている。1617年、大阪の陣の後、米子から加藤貞泰が6万石で大洲に入城すると、以来、明治維新まで加藤家の治世が続く。

1888年(明治21年)に取り壊された四層四階建ての天守閣は、当時撮影された古写真、作業方棟梁に伝わる木組み模型(天守雛形)、古絵図、発掘調査資料など数多くの資料に恵まれており、昔どおり復元することができる全国でも有数の天守閣である。完成すれば、現存する2つの櫓(台所櫓・高欄櫓)とL字型に連結し、3基の建造物が建ち並び、本来の雄姿が甦ることになる。(平成16年7月完成予定) <http://www.city.ozu.ehime.jp>

余部（あまりべ）鉄橋

兵庫県香住町



山陰本線の名物として知られる余部鉄橋は、2年の歳月と33万1千円余りの巨費、25万人の人夫を投じて明治45年に完成しました。高さ、41.5m、長さ309.42mのトレスル式鉄橋で、現在でも日本一の規模を誇り日本海の強風を真向から受け、四季折々の姿を見せています。

眼下に広がる日本海や余部の集落がまるでパノラマのように見え、一瞬列車が宙に浮いた感じすら覚えます。また、夜通過する列車を見ると、車窓からもれる光だけが見え「銀河鉄道」を思わせます。

<http://www2.nkansai.ne.jp/org/kasumi-kanko/>

『鎮西町の宝』 玄海国定公園波戸岬、特別史跡名護屋城跡

佐賀県鎮西町



わがまち鎮西町は玄界灘の雄大な自然美と緑の大地に包まれ、大閣秀吉が築いた名護屋城の歴史と文化が今もなお息づくまちです。玄海国定公園波戸岬と特別史跡名護屋城跡はわがまちの宝であり、わがまちの自慢です。

波戸岬は東松浦半島の最西北端に位置し、玄海国定公園、玄海海中公園にも指定される一大リゾートエリアです。日本海側唯一の海中展望塔をはじめ海水浴場やキャンプ場・国民宿舎などの施設が盛りだくさんです。また、屋台で熱々のサザエをほおぼるのもここならではの楽しみです。

名護屋城は、天下統一を果たした豊臣秀吉が文禄・慶長の役のためにわずか5ヶ月で築城させたといわれています。城の広さは約17

ヘクタールで当時では大坂城に次ぐ規模であったといわれ、現在も残る立派な石垣が当時の面影を伝えています。また、周辺には諸大名の陣跡が130箇所以上も点在しており、その中には、徳川家康・前田利家・伊達政宗など歴史上著名な大名もみることができます。さらに、国の特別史跡に指定された城跡を歩けば、当時の栄華の様が浮かんできます。現在、遙かなる歴史の物語は佐賀県立名護屋城博物館や町立茶苑「海月」に受け継がれています。

<http://www.town.chinzei.saga.jp/kankou/>

一心行の大桜

熊本県白水村



この大桜は南郷谷の真ん中で、淡い薄紅色の花をつける大桜です。樹高17m、枝の差し渡し26m、春には遠く南外輪山からでもその存在がわかるほどにみごとな半円球に花をつける美しい姿は、多くの人々の心を慰めています。大桜の開花状況により開催される「南阿蘇桜さくら植木まつり」では、さまざまなイベントが開かれ白水村自慢の特産品を販売する物産品販売コーナーや太鼓や神楽、コーラスなどのステージイベントがあります。特に一押しイベントは大桜のライトアップショーです。桜の満開にあわせて行われるライトアップは、大桜を幻想的に演出し、毎年多くの人を魅了します。

棚田が美しい番所

熊本県菊鹿町



番所は、昔「御番所」があったところです。熊本県第2回農村景観大賞に輝いたことで一躍有名になりました。日本の棚田百選にも選ばれている棚田があり、四季折々すばらしい景観を見せています。

特に9月中旬から下旬にかけて、町花の彼岸花が棚田の畔を真っ赤に染め、黄金色の稲穂と青空と山の緑のコントラストが見る人の心を魅了しています。

また、集落も手入れの行き届いた生け垣ばかりで、あたたかな人情の住民が、庭先や道路沿いを季節の花で彩っています。

<http://www.town.kikuka.kumamoto.jp>

越後よしかわ道の駅・まちの駅

新潟県吉川町



主要地方道新井柿崎線沿いの日帰り温泉「ゆったり郷(さと)」と道路向かいの農産物等販売施設、無料休憩施設、トイレ等が道の駅になりました。また、同じ敷地にある観光酒蔵「よしかわ杜氏の郷(とうじのさと)」とアイスクリーム工房は、まちの駅に指定されています。ゆったり郷の温泉は、慢性消化器病や神経痛等に効き、また檜のお風呂に葉草酵素のオガクズを敷き詰めた酵素風呂が自慢です。施設も充実していて、心も体もゆったり、ゆ～っくりできます。

農山物加工施設は、新鮮でおいしい地元の野菜や山菜、漬物等を販売しています。よしかわ杜氏の郷は、地元の酒米を使った地酒「よしかわ杜氏」を製造・販売しており、隣接しているアイスクリーム工房では、酒米を使ったおいしいアイスクリームを販売

しています。その他にも、軽食を販売している施設もありますので、皆さん是非一度、吉川町「道の駅よしかわ杜氏の郷」「まちの駅よしかわ」にお立ち寄りください。お待ちしております。

<http://www.town.yoshikawa.niigata.jp/>

幻?の名産「チリメンカボチャ」

愛知県大治町



愛知県の伝統野菜の一つに「愛知県縮緬カボチャ」がある。現在県内では、海部郡大治町と大府市で主に生産されているが、近年の都市化に伴い生産量も減少し、生産農家も数軒となっている。このカボチャは、表面はごつごつして堅いが、果肉は非常に柔らかく、煮込みすぎるとスープ状になるのが特徴である。明治の末期、海部郡大治町砂子地区の農家が海部郡甚目寺町萱津地区から種子を入手して研究を重ねた結果、美味なカボチャがでた地元では「砂子カボチャ」とよばれた。昭和45年には、市街化地域に指定され、それまで町内一円で栽培されていた砂子カボチャは姿を消しつつあったが、当時の生産者2人が継承し、最近では、小学校での総合学習などで、「砂子カボチャ」について子ども達が学び、給食で試食をし、周囲へ波及

しは始めている。しかし、生産者の高齢化、後継者不足が問題になっており、今後種子の保存、後継者の育成、地産地消など伝統野菜の継承について生産者、農業者団体、行政等が課題に取り組んでいる。

- 海を臨む古墳群 - 房の沢古墳群出土品の保存と活用

岩手県山田町



房の沢古墳群は、町の中心地から北へ約1.5km、山田湾を一望できる小高い丘の上に築造された古墳群です。道路建設工事に伴い発掘調査が行われ、古墳時代末期から奈良時代(7世紀末~8世紀)につくられた蝦夷の首長の墳墓であることが明らかとなりました。

この古墳の特筆すべき点は、豊富な副葬品です。中でも日本最大級の蕨手刀をはじめとする23振りの刀剣類はいずれも残存状態が良好で、本遺跡の学術的価値をさらに高めています。また北海道系の土器、錫製品、須恵器など広い交易を示す品々も出土しました。

町ではこの貴重な文化財を保護し、かつ永く将来に伝えるために、平成14年度から3力年計画で保存管理体制の構築と活用を目的とした事業を展開しています。また遺跡に隣接した山田北小学校には

空き教室を利用した埋蔵文化財展示室「山北ドキドキ歴史館」を開館しました。

太古の昔から海を舞台に活躍し、その中で培われた私たちの歴史と文化を大切にしていきたいと思ひます。

このコーナーでは、地域の特産物や名物料理など「食」に関する情報を紹介いたします。

竹の子けんちん

青森県碓ヶ関村

竹の子けんちん



秋田県との県境に位置する私たちの村は、いで湯と、季節ごとにもたらされる山の幸が豊富です。山々に降る雪が、雪解けとともにたくさんの恵みをもたらしてくれるのです。

今回ご紹介する「竹の子けんちん」は、地場産の竹の子、さやいんげん、にんじん、豆腐の4品だけを使った素朴な家庭料理ですが、薄くそぎ切りにした旬の竹の子と、柔らかい豆腐が絶妙に絡んで、熱々をやっつけると、もう、白いご飯がいくらあっても足りません。旬の素材は、シンプルにいただくのが一番ウマいんです。

今回、この料理を紹介してくれた相馬ツサさんは、地元の女性たちと農産物加工友の会を結成し、道の駅「関の庄」でたくさんの地場産物を扱っています。昔ながらの製法で作る「関のみそ」は大人気商品！そのほか、自然薯を使ったラーメン（つつるつるシコシコの

麺が、スープと合ってメチャウマ！）、豊富ないで湯と味わいのある宿など、碓ヶ関村は、おいしいトコだらけなのです。

お問い合わせは、道の駅「関の庄」 電話：0172-49-5020 までどうぞ。

地元産農産物を活用し、安全で美味しいおふくろの味

埼玉県鳩山町



鳩山町の農業女性10名が、「健康の基本である食生活はできるだけ手作りのものを。」を合い言葉に、地元産の農産物を活用した加工活動を展開するグループを町内に杓子母神(おしゃもじ様)が祭られていることにちなみ「鳩山町おしゃもじ会」と命名し昭和50年に発足させました。発足当初は、町特産の大豆で自家用みそを仕込んでいましたが、口コミで味と香りの良い評価が広まったことから加工施設を整備し、平成5年からは町の学校給食で利用されるまでになりました。さらに、平成6年には菓子製造施設等を整備し、饅頭、赤飯、餅、うどん等の加工も始め近隣市町の農産物直売所でも販売し、消費者から好評を博しています。原料は、全て地元農家が生産し、添加物も一切使用しないため、子供達に安心して食べさせられると、幼稚園からの注文もあります。本年からは、地元の大学に自分たちで栽培した旬の野菜をふんだんに取り入れ、栄養バランスを考えた弁当の販売も開始しました。弁当は、学生から「おふくろの味でおいしい」と販売開始間もなく売り切れになるほどの人気です。会では、これからも、地域の人たちに喜ばれる加工食品づくりにみんなで引き続き取り組んでいくこととしています。

【問い合わせ先】埼玉県鳩山町産業振興課 TEL049-296-1211

クルミの生産量 日本一！

長野県東部町



・旬の食材『クルミ』  
老化現象を予防する栄養食品、クルミ。クルミは良質の脂質が実の60～70%を占め、イライラ解消や集中力を養うビタミンB1、動脈硬化を防ぐリノイン酸やビタミンEなど、栄養価の高い食材です。10月初旬からクルミ落としが始まり、洗浄、乾燥され、11月頃には新物のクルミが出回ります。

この東部町産の風味豊かなクルミを使った料理を、町内女性グループの皆さんにより料理集としてまとめられ、ただ今好評発売中です。

和菓子、洋菓子、パンや各種料理の副材料として広く利用できるクルミを使った、ふるさとの味、おふくろの味の料理やお菓子に、あなたも挑戦してみませんか。

料理集『東部の味 くるみ』 定価700円

問合せ、注文先 東部町役場農政課 TEL0268-64-5894 FAX0268-64-5881

<http://www.town.tobu.nagano.jp/>

## わがまちの旨いもん

### ふるさとの味！芭蕉コンニャク

### 三重県大山田村



大山田村では、多発する野猿による農作物被害から山間部の農地を守るため、平成10年度から被害が少なく昔から栽培加工技術の蓄えのあるコンニャク芋の生産を拡大し特産品として育てようとして取り組んでいます。

平成11年度にオープンした豊かな自然環境に囲まれた「大山田温泉さるびの」の敷地内において製造したコンニャクは、大山田村のある伊賀地方が俳聖「松尾芭蕉」生誕の地であり、芭蕉の好物がコンニャクであったことから「芭蕉コンニャク」と名づけ温泉内で販売しています。生芋と淀川最上流の清らかな水を原料におくどさん（かまど）で薪を用い炊きあげ製造する「芭蕉コンニャク」はコシがありしこしした食感で美味しく、刺身コンニャクとしても召し上がっていただけ、温泉を訪れる県内、県外の多くのお客様から好評を得ています。

コンニャクの健康食品としての価値を高めるため、モロヘイヤ、アロエ、ゆず、自然薯などが入った多様な商品も製造販売しています。

愛情を込めて作り上げた昔なつかしい素朴な本物の味を是非ともご賞味下さい。

<http://www.e-net.or.jp/user/ooyamada/>

### 伊吹の里

### 滋賀県伊吹町



伊吹町の伊吹に食事や特産品の販売を行う店が集まったところがあり、その近辺を総称して「伊吹の里」とよんでいます。その中には、伊吹そば、ミルクファーム伊吹（伊吹牛乳）、若いぶき（山菜料理）、農林産物直売所が併設しています。「伊吹そば」は、ソバ栽培の発祥の地とされる伊吹の地で栽培された無添加のそば粉を使用し、伊吹山麓の霊水で打った、そば粉9：小麦粉1の本格そばです。そばうち体験もできます。

「ミルクファーム伊吹」は、その日の朝搾りたての牛乳が味わえます。濃くほんのりと甘い、昔懐かしい味わいがします。またジェラートも人気で、旬のフルーツを使った季節限定物もあります。

「若いぶき」は、地元で取れた山菜と岩魚の料理が味わえるお店です。

伊吹山を真正面に見ながらゆっくりとした時間がすごせます。また薬草風呂も利用できます。

農林産物直売所ではその日に取れた野菜や花など、新鮮な商品を良心価格で提供しています。

伊吹の里では年に数回、伊吹町の特産品を集めた【特産品フェア】を開催しています。

伊吹の名物を求めるお客さんや観光客で毎日賑わっています。 <http://www.town.ibuki.shiga.jp/>

### リアスのまちから

### 大分県津久見市



津久見市は、大分県の東南部に位置し、温暖な気候と山・海の幸に恵まれた自然にあふれたまちです。

平成15年4月には津久見の新鮮な海の幸、山の幸の特産品を販売、2階には海を見渡せるレストランを併設した物産会（どんなもんだい うみえ〜る つくみんち）がオープンしました。

マグロ漁の基地、津久見・保戸島。水揚げされた新鮮なマグロを地元ならではの素朴な味わいでお楽しみください。「ステーキ」「しゃぶしゃぶ」「すき焼き」「ハンバーグ」など、肉料理として食べられている料理も、津久見ではマグロ料理として食べることが出来ます。お肉とは違った味がご堪能できます！

また、マグロ料理以外にも、「きよろっけ」「ひじきめし」「海鮮丼」など、豊後水道で獲れた新鮮な海の幸を使った料理が楽しめます。一度味わってみてください。 <http://www.city.tsukumi.oita.jp/>

### 西門川の新名物「自然薯とむかご」

### 宮崎県門川町



山野に自生していることから、通称ヤマイモといわれますが、近年は山間部の特産品として栽培され「自然薯」と呼ばれています。食べ方としては「とろろ汁」が有名で、地元産（西門川）の椎茸をだしにして料理すると最高です。そしてもう一つの特産品がむかごです。こちらの食べ方は、バター焼きが有名で宮崎名物の焼酎によく合います。この西門川名物の「自然薯とむかご」是非一度、ご賞味下さい。

【お問い合わせ】門川町自然薯研究会 TEL0982-64-1221(本田)

しっかり食べんさい！二合寿司

広島県湯来町



お祝いの席、棟上の日、お祭りのときなど、湯来町では大きな二合寿司（かくずし角寿司・押し寿司）を作ってお客さんに振舞います。

寿司飯の中には、しっかり味付けされた具（ごぼう・にんじん・油揚げ・わらびなど）を2段に入れて、4寸角の寿司器で押しぬいて作ります。

いつごろから、どうしてこんなに大きな寿司を作るようになったのかは不明ですが、接待に忙しい家の人や、せっかくいらして下さったお客さんに対して「遠慮しないで、しっかり食べてくださいよ」という気持ちが込められていると思われます。

今では、一度に全部を食べきれぬ人はなかなかいませんが、昔の人の心意気を感じられる大きなお寿司を、ずっと作ってほしいものです。

由良の媛っこ地鶏 本当の親子丼

愛媛県内海村



由良の媛っこ地鶏の親子丼は、今秋10月にオープンした「ゆらり内海（レストラン併設の海水温浴施設）」の看板メニューです。（由良とは内海村に属する由良半島地域の呼び名）

丼の中身は、地元の特産品である由良の媛っこ地鶏の新鮮なお肉を、玉子は媛っこ地鶏の親、伊予路しゃもの玉子を使用しており、親子関係にこだわった本当の親子丼が完成しました。

お肉となる媛っこ地鶏は、平成13年度に愛媛県養鶏試験場が開発した期待の新品種！内海村では、平成14年10月から新規就農者を中心に8名が生産組織を立ち上げてこの地鶏を飼育しており、餌には由良半島で採れた真珠貝の貝殻や海藻など、天然の素材を与えています。生産者は他の地域がまねの出来ない独自の飼育マニュアルを作り

、常に品質の向上に努めています。新規就農者の期待を乗せた「由良の媛っこ地鶏の親子丼」！是非一度ご賞味ください。 <http://www.nijah.com/~uchiumi/>

かあちゃんたちの手づくりの味

佐賀県唐津町



唐津市の北西部に位置し、玄界灘に面した湊町。その中を走る国道204号沿いに建っている「みなとん里」には、地場産の新鮮な農水産物や美しい花が所狭しと並んでいます。中でも、隣接した「みなとん里かあちゃん加工部」で作られた、安全でおいしい、手づくりの味噌や饅頭、漬物が売れ筋です。

手づくり味噌や饅頭は地方発送もでき、各地から注文があつています。饅頭は、人気商品のよもぎ団子（季節商品）や、昔懐かしい石垣団子、定番の小豆あんの他、いもあん、紫いもあん、かぼちゃあんなどの変り種も豊富で、どれを買おうか、しばし迷ってしまいます。また、みそを練りこんだ味噌饅頭や、なかなかお目にかかれぬ（滅多に作られない）幻のひじき饅頭など、どれをとっても、すぐ隣の施設で、地元の「かあちゃん」たちが心をこめて作った逸品ばかり。一度お試しになりませんか。 味噌... 750g：450円 1kg：600円 饅頭... 5個入り：300円（味噌饅頭... 4切入り：150円）

お問い合わせは、みなとん里 0955-79-0709  
みなとん里かあちゃん加工部 0955-79-1239

このコーナーでは、農村で活躍している女性(グループ)の取り組みについて紹介いたします。

「しそ遊び」で美しく

青森県車力村



しそ(紫蘇)といえば一番先に思い浮かぶのは梅干しという地味なイメージ。その「しそ」を対馬順子を支部長とするJA富苑女性部・下車力支部の有志がジュースとして商品化。有志は村おこしのために自分たちに何かできることはないかと試行錯誤し、その強い思いが身近に植えてある「しそ」の商品化という実現に到達。青しそと赤しそをブレンドしてエキスを抽出し濃縮したもので、その効果はバツグン。(どちらも優れた防腐作用を持ち、特に青しそのビタミンA効力はカボチャの十倍に匹敵し、カルシウムも豊富)常食すれば胃健効果があるという。「しそ遊び」というネーミングときれいなしそ色に思わず飲んでみたいという思いにかられ、飲んでみるとまたおいしい。今、有志は全国にそのPRを発信しまさに輝きの真最中!

ご希望の方は(むらおこし拠点館・フラットにて 0173-69-5215)

西浦マーケティンググループ「みかんの花」

静岡県沼津市



西浦マーケティンググループ「みかんの花」は、寿太郎まるごと手づくりジャムを製造する女性11名のグループです。

ジャムの原料となる寿太郎温州みかんは、沼津市西浦の山田寿太郎さんのみかん園で昭和50年春頃青島温州の一樹から枝変わりとして発見された品種で、毎年2月初めから3月中旬にかけて出荷されます。この寿太郎みかんを年間を通して味わってもらおうと、平成12年度に「寿太郎まるごと手づくりジャム」が商品化されました。

寿太郎ジャムは寿太郎みかんのへた以外の部分を丸ごとペーストにし、それに砂糖だけを加えて作られます。余分な添加物を一切加えていないため賞味期限は2ヶ月間と短いですが、みかんの花代表遠藤さんは「それが安心の証。残留農薬の検査もしましたが検出されませんでした」と自信を持っています。今は寿太郎まるごと手づくりジャム

に続く新たな商品の開発に取り組むなど、西浦のみかんをもっとPRしようと積極的に活動しています。

寿太郎まるごと手づくりジャムは、イベントや一部の直売所で販売されています。ぜひ一度ご賞味ください。

【問合せ先】農事組合法人「おもす」直売所 沼津市内浦重須14-4 TEL055-943-2136

私達のつくる「五目ちまき」

新潟県川口町



様々な職業の女性達9人が集まり、昔ながらの「五目ちまき」をつくって販売しているのが、「よらん会」です。手先の仕事、経理、山菜等の材料調達、接客・営業販売、衛生管理、それぞれ自分の得意分野を活かし役割を分担して活動しています。

「五目ちまき」は、川口産の「こがねもち」と自分達で採ったり、栽培したぜんまい、わらび、みずな、枝豆、くるみ、栗、人参、ごぼうを使い、四季折々の「おこわ」を炊いてつくっています。毎週土曜日の夜仕込みをし、日曜日の朝蒸かして、国道17号沿いの「よりみち市場」や「えちご川口 和楽美の湯」で販売。その他注文に応じて販売。お客様からなかなかおいしいと大好評を得ています。

地産・地消、安心・安全をモットーに、いつも笑顔でつくっている「五目ちまき」を、日曜日に川口の温泉(和楽美の湯)に来た時、売店で目に止め是非食べてみてください。

## 「おんさい工房」へ気軽におんさい！

## 岐阜県明智町



私たちの働く「おんさい工房」この施設は、明智町の農家の主婦たちが中心となり始めた、地元の食材を使った食品加工・販売のお店です。扱い品目は一番人気の大福餅・かすてら・こんにやく・からすみ・トマトジュース・魔法のたれ・へちまの化粧水・地元の野菜等々・・・。食品加工については、私たちが家庭で教わった「昔ながらのお母さんのなつかしい味」「安心な加工品」継続を目指してがんばっています。野菜の栽培では、安心安全をコンセプトとした「ぎふクリーン農業」の栽培に取り組み、試行錯誤、右往左往しながら少しずつ前に進んでいます。イベントに参加してお客様との交流を図ったり、講習会に参加して固くなった頭に苦労したり、他の会の方々との交流会をして励まされたり・・・と、忙しい毎日です。でも、働けること、仲間と会えることがとてもうれしく、充実した時間を感じています。立ち上げ当初は明智町の役場の方や町民の方や、家族など、たくさんの人たちに助けられて始めたこの「おんさい工房」も、今年4年目に入り一人歩きを始めました。やっていけるかどうかの不安と、今後たくさんある夢に向かっての新たなスタートです。まずは明智町で就労の場を・・・と

願っていた明智町への恩返し。そしてクリーン農業を中心とした農業の充実拡大。新しい仲間の募集。新商品の開発。私たちの楽しみの確保？販路の拡大など、問題も楽しみも山積みですがみんなで一步一步確実に進んでいきたいと思っています。働くようになって、一家の「主婦（主夫）」が働くということは、家族の理解、支え等があった初めて成り立つものだと改めて実感しています。これからも、元気に働き続けていきたいと思っていますので、みなさん応援よろしくお願いいいたしますね。

「おんさい」とは、明智町の方言の1つ。『きてください』という意味です。

## 農業にかける情熱

## 兵庫県篠山市



篠山市では豊富な農業生産基盤を活かし、農業が市の基幹産業のひとつとなっております。また、篠山盆地特有の気候風土を活かし、良質の米、特産作物である黒大豆、山の芋などの特産品を生み出してきました。現在市では、担い手の育成確保のために、認定農業者や集落営農組織の強化に努めています。また、市の農業の空洞化を防ぐために認定農業者後継者連絡協議会を平成13年度に設立し、将来の篠山市の農業の担い手の育成にも努めています。今回は、その認定農業者後継者連絡協議会の一員である古家後葉子さんを紹介いたします。認定農業者であるお父さんと専業農家のお母さんと葉子さんの3人で、力を合わせ酪農業とぶどう栽培に取り組まれています。酪農業では、成牛50頭、育成牛20頭の規模で一日当たり約1.2tの乳量を毎日出荷されています。乳牛のえさについては、飼料作物を3.5haの規模で栽培されており循環型農業を実践されています。ぶどう栽培も20aの規模で実施しており、繁茂期においては、目も回るほどの忙しさとの事です。ぶどうについては平成11年度より、ぶどうの直売もぶどう園の前で実施しており、毎年わざわざ買いに来ていただく市外の方もいらっしゃるとの事です。平成16年にオープンする篠山市今田地区農業公園今田薬師温泉施設の中ではアイスクリームの製造、販売にもかかわっていかれる予定です。就農されてまだ数年ですが、農業にかける情熱は並々ならぬものがあり、今後、ますます意欲的に活動されることと思います。

日

## 手作りの「山里せんべい」

## 高知県安芸市



国道55号から車で30分ほど安芸川の支流、江川川をさかのぼった黒瀬告ヶ丘地区は、こまどり温泉を有し、四季折々の姿で都市に住む方々に心の安らぎを提供しています。

この地区の告ヶ丘婦人会は、山里の地域資源活用策として、地元の農産物を利用した、手作りの「山里せんべい」を開発し、販売しています。種類は、なす、ゆず、茶、さつまいも、紫いも、じゃがいも、かぼちゃ、どんぐりの8種類。素材の色そのまま、無添加、無着色のため、少々色が異なり、大きさも不揃いですが心を込めてつくっています。市内外に販路を拡大し、関東の高知県関係のアンテナショップでも販売しています。素朴で、素材の味がしっかりしている「山里せんべい」を一口お試しく下さい。

問い合わせ先：告ヶ丘婦人会代表 大井きりえ 0887-36-2231

このコーナーでは、農業を始めてみたいと思っている方へ向けての市町村等からの情報等を紹介しております。

**農業後継者対策「新規就農者研修施設 = めざせプロ農家のリーダーを = 」 秋田県太田町**



太田町では、農業の振興と農業後継者の育成を目的に新規就農者研修施設を整備しました。この事業により、栽培試験圃場1.8ヘクタールの中に、鉄骨ハウス2棟、パイプハウス2棟、資材機材庫1棟が建てられ、農業生産の現場が抱えている課題や新技術に関する専門的な課題に取り組んでいるほか、米依存型の農業から脱却を図るための新規作物試験、農業技術の普及研究を行っています。現在は、野菜、花卉、山菜などが栽培されており、地域の農業者の研修場所として活用されています。また、新規就農者研修施設では、町内の農業後継者2名が就農に向けて、農業経営に関する基礎知識や作物栽培研修を行っており、将来の町の農業を担う経営感覚に優れたプロ農家のリーダーとなることが期待されています。

<http://www.obako.or.jp/otatown/>

**「風の子」農業小学校**

**愛媛県野村町**



野村町溪筋地区では、「自分でつくる」という機会がめっきり少なくなった現代っ子的のために、また、そのような子供達を対象にしながら都市と農村の交流を推進するため、平成9年度から「溪筋農業小学校体験教室」を開校しています。地域の野菜農家の一人が校長先生を務め、地域内にある休耕田畑を借り、年間を通して稲作、野菜づくりを実施するほか、川遊びや炭焼き体験、搾乳体験等この地区で体験できる事業を取り入れて行っています。（年間を通して毎週日曜日に開催）

参加者からは「人のあたたかさや自然の豊かさにふれることができ、有機農法による野菜をつくり、食べられることに幸せを感じる。」との声が寄せられ、数多くのリピーターを生んでいます。また

、農業小学校を経験された方は、その後も継続して溪筋地区の方々と何かしら交流を持たれているケースが多いです。

農業を知り、農村を知り、魅力を知る。農村と都市との交流の本来の姿がここにはあるような気がします。

お問い合わせ先 「溪筋公民館」0894-75-0111

<http://www.chiiki-dukuri-hyakka.or.jp/book/jirei2001/31kazenoko/3101.htm>

**八三会(会長・上田敏広さん)発足**

**熊本県菊鹿町**



都市住民に田舎の良さをPRしようと、菊鹿町上内田3区の農業後継者グループ「八三会」が今年発足し、棚田を利用して農業体験を行っています。

同地区は、昨年まで3年間、中山間地域活性化と農業振興のモデル地区だったところで、昨年農業体験に取り組んだ経験があります。

今年は、福岡からの参加者が多く、田植え・栗拾い・稲刈り体験が行われました。

問い合わせ先：菊鹿町役場農林課 富田

0968-48-3111

## 学校演習林で生き生き体験

## 千葉県茂原市



里山は貴重な自然体験の場となりますが、回り中を山で囲まれた環境でもなかなか体験できるような里山がありません。それは下草や枝が燃料や肥料として利用されなくなり、山が放置されているからです。また、安い輸入材に押されて林業経営が困難になり、特に都市部の農業高校では演習林学習がほとんど姿を消してしまいました。

明治30年に創立された千葉県立茂原農業高等学校は、百年の伝統を誇る演習林実習を全校生徒が参加する学校行事として今も実施しております。

1クラス毎に学校から25km離れた演習林にバスで移動し、下草刈りや枝打ち、間伐等で汗を流した後は、豚汁・焼そば・バーベキュー等クラス毎に工夫し調理した料理を食べながら楽しい一時を過ごします。真夏でもひんやりとするオゾンいっぱいの中で、半世紀前に先輩が植林し、毎年手入れをして育てた見事な樹木の下での苦労話は、稀薄になったとされる仲間意識を強め、伝統や校風を素直に受入れ、自然や歴史、人間の営みに対する畏敬の念を培うことができます。

手入れのゆきとどいた演習林は、さらに、学習広場や野外調理場、避難小屋も整備され、小・中学生やガールスカウト等の団体にも解放し、交流事業も実施しております。本校生徒がサプリーダーとなり、生き生きと展開される演習林体験では参加者全員の顔が輝いております。

このような活動により「15年度全国緑化推進運動功労者」として内閣総理大臣表彰に輝きました。

## アンテナショップ情報

このコーナーでは、地域の特産物等が身近で購入できるアンテナショップやテナントの情報を紹介いたします。

## 姉妹・友好都市アンテナショップ「麦わら帽子」開店2周年大感謝祭

## 東京都武蔵野市



2年前の10月5日、武蔵野市吉祥寺の商店街の一角に、武蔵野市と7つの姉妹・友好都市が共同で出資したアンテナショップ「麦わら帽子」はオープンしました。お客様は、地元吉祥寺の方は毎日のように、市内全域や近隣からは自転車等を利用して、週末には新聞記事や情報誌で「麦わら帽子」をお知りになった方々で賑わっています。

この2年間のご愛顧に感謝し、これからも「麦わら帽子」のサポーターとなっていただけるよう、また新規顧客の開拓も念頭に置いて「開店2周年大感謝祭」を実施しました。10月中は、姉妹・友好都市が交代で店頭でのフェアを開催、各都市の魅力を紹介するとともに、お買い上げいただいたお客様には、特産品のプレゼントや各都市の宿泊券があたる抽選券をお渡しし大変喜ばれました。

約20坪の店舗ですが、姉妹・友好都市から直送される“安心”“安全”“生産者のわかる”商品を取り扱い、この先5年10年とお客様にご利用いただけるよう、引き続きお店の魅力づくりに努めて参ります。

JR吉祥寺駅から徒歩10分足らずの場所にあり、お近くにお越しの折にはぜひお立ち寄りください。お待ちしております。（所在地：武蔵野市吉祥寺本町2-33-1 電話：0422-29-0331 営業時間：午前10時～午後7時 木曜日定休） <http://www.city.musashino.tokyo.jp/>

## 手作り工房 風花（かざはな）

## 岐阜県八幡町

「風花」は、様々なハンディキャップを持つ仲間達が働き、憩い、学びそして社会参加している八幡町小規模授産所「ウイングハウス」のお店です。この施設は、「障害者の自立を支援し、誰でも参加できる交流スペース」を目的として設置されました。また、名前の由来は、冬の晴れた日、舞うように降る粉雪のようにウイングハウスの仲間の輪が地域に優しく広まるイメージから生まれました。お店では、季節に合わせたインテリア雑貨、町内在住のアーティストの作品などが販売されています。また、ボランティアグループひまわり会が実施している子育て支援事業「おもちゃ図書館」や、高齢者向けのいきいきふれあいサロン「安吾」も併設されており、子どもからお年寄りまで、障害の有無に関係なく、どんな人達にも心地よい風を送る空間となっています。

問い合わせ先：「手作り工房 風花」〒501-4216 岐阜県郡上郡八幡町本町825-1 0575-65-6890

### 十和村の産直活動

### 高知県十和村



「十和村地産地消（産直活動）運営協議会」では、地元でとれた農林産物や加工品を地元直販所へ出荷・販売しているほか、市街地のスーパーでも産直販売をしています。

#### 十和の台所

十和村の直販所です。毎日いろんな野菜や加工品、特産物を取り揃えています。十和村へ来られた際には是非お立ち寄りください。場所：高知県幡多郡十和村十川（十和村開発センター横）営業時間：8:00～16:00（定休日：日曜日）電話：0880-28-5010

#### おかみさん市

十和村内の農林産物や加工品を「サンブラザ」さんの協力を得て、高知市周辺の同スーパーの店内で定期的に販売しています。また、生産者自らも定期的に販売・イベントを行っており、生産者と消費者がお互いの課を見ることが出来る活動となっています。問い合わせ先：十和村役場産業課特産商工観光係  
電話：0880-28-5111

写真上：十和の台所

写真下：おかみさん市

## ユニーク施策

このコーナーでは、全国の市町村において、独自に取り組んでいる施策等を紹介しています。

### ふるさと創生資金を自治会に分配「まいはらまちづくりほっとプラン」

### 滋賀県米原町



21世紀のまちづくりの創造と住民主体によるまちづくりを進めるため、自治会の創意工夫により策定した「まちづくり計画（ほっとプラン）」に基づく事業に対し、自治会の規模に応じて補助金（最高額1,000万円）を交付する事業です。計画策定にあたっては、男女ともに3割以上、若者3割以上を策定メンバーに入れることになっており、地域のすばらしいところや地域の課題を掘り起こしながら、地域の夢であるまちづくり計画を立てていきます。当事業は補助金メニューが限定されていないため、地域で考えた計画に基づく事業展開が可能です。そのため、地域の未来の夢にむかって普段まちづくり活動にかかわっていない層（若い世代や女性など）もかかわるきっかけとなりました。また、プラン策定～実施にあたっては

様々な技術や得意分野が活かされるため、地域の人材発掘にもつながっています。事業自体については、事業実施にともなって各区の拠点づくりや、子どもの遊び場づくりなどがおこなわれつつあり、今後のコミュニティ活動の活性化につながっています。 <http://www.maihara.com>

### 「高齢者にやさしい有償運送システムについて」

### 岐阜県宮川市

近年では、車社会が発達し多くの人とその恩恵を受けていますが、高齢者の生活をみるとそうとも限らないようです。身体的・肉体的影響から年齢とともに運転から遠ざかってしまい、そのうち家族にも遠慮して外出の機会が少なくなってしまう。そうした移動制約者の生活をサポートすることができれば豊かな高齢社会の構築に貢献することができるかと村では考えていましたが、折良く、構造改革特別区域法により自家用車を利用した有償運送が可能となりました。

この特区による有償運送システムは免許を持たない成人と65歳以上の高齢者の会員の予約を受けて、指定された時間にシルバー人材センターの運転手が自宅まで迎えに行くというものです。（なお、利用範囲は、宮川村・河合村の両地域のみです）利用者は片道百円の受益者負担を運転手に支払い、村は四百円を運転手に助成します。利用者側の立場にたった、特に高齢者にやさしい有償運送システムを構築できるよう更に努力し、誰もが住み慣れた土地で安心して暮らせる環境づくりを目指していきたくと思います。

## 松尾百笑(ひゃくしょう)村

## 福岡県立花町



高齢化と過疎化で農業が衰退してきている集落ですが、中山間地域等直接支払制度をきっかけに、地域興しの機運が高まり、伝統文化の継承活動の一環として毎年4月に行なわれる「松尾風流大祭」の舞台となる弁財天公園周辺の整備を活動の中心として、農村女性や高齢者グループを含めて住民一丸となり、集落の活性化に取り組んでいます。集落全員での農道の草刈り等の共同作業、多面的機能増進活動としての景観作物の植え付け、伝統文化（松尾風流）の継承活動、また、こんにやく作り・そば打ち体験等都市と農村の交流にも取り組み始めています。特に、高齢者グループの弁財天奉賛会有志によるこんにやく作りは広く知れ渡り、縁日には午前中で売り切れてしまう程の人気で、集落の特産物となっています。

こうした活動を都市部を中心に広くPRする為に、集落住民の似顔絵を東京の漫画家の先生に描いてもらい、これを基に百姓の笑顔の入ったポスター、生産者シール、タオル、のぼり等を作成し、水田に立てたり産直野菜に付けたりして、「松尾百笑村づくり」と名打って村おこしに取り組んでいます。

## 一区一輝運動

## 熊本県玉名市



玉名市では、13の小学校区をそれぞれ1つの単位として、校区の特性や個性を生かした街並みや景観、産物や人、イベントづくりなどの、校区が自立し活性化する地域づくり運動を「一区一輝運動」として、平成13年度から推進しています。

この事業は、各校区の住民が「まちづくり委員会」を組織し、「まちづくり計画」を策定することから始まります。これまでに13校区全てで計画が承認されており、その計画に基づく「まちづくり事業」が実施されています。運動のために市では、計画策定費及び事業費を助成（100万円と500万円を限度）するとともに、委員会活動やまちづくり事業に対してセクションである地域振興室が支援を行っています。

この結果、平成14年度から神楽の復活や地域のイベント作り、まちづくりの拠点となる建物の整備や手作りのポケットパーク、地域の歴史の再発見など様々な成果が生まれてきています。校区住民が自ら考え、自らの力で取り組む全国に誇れる地域づくりとして今後一層運動を進めていきます。

## 綾雛山まつり

## 宮崎県綾町



地元の伝統文化を活かして街の活性化を図るために、綾町商工会女性部が主催、町・町観光協会・町商工会の共催で、平成16年2月21日（土）から3月3日（水）まで、中央通商店街を中心に開催します。展示会場である中央通商店街においては、期間中の土・日には、ひな団子、ひし餅など「雛山まつり」にちなんだ商品の販売も行なっています。「綾の雛山」の由来は、江戸時代にはじまり、北麓の梅敷地区が発祥の地とされています。女性は昔から山の神とされていました。貧しい生活の中で、長女が生まれると親戚や隣近所の人たちが、粘土で土人形や木の枝で木製の人形などを作り、山や川で拾ってきた巨木や古木、奇岩、輝石を飾り付け、花木などをもち寄って奥座敷に山の神が住む風景を再現したものが「雛山」の始まりであると伝えられています。「雛山まつり」は綾町の町おこし事業の一つで、期間中は中央通商店街展示会場以外の町内数ヶ所でも、地元事業所等の協力により雛山が展示されています。

## イベント情報

平成16年1月から平成16年4月までの期間に全国各地で開催が予定されている様々なイベントを掲載しております。記事を読んで興味をもたれた方は、是非一度現地を訪れてみませんか。

### 第10回てんまばやしむらホワイトバトル(雪合戦)

青森県天間林村



開催日 : 2月上旬  
開催場所 : 天間林村中央公園  
お問い合わせ先 : 天間林村役場産業課 TEL:0176-68-2116  
1チーム7名の選手が、支給された70個の雪玉をコート内で投げ合い、制限時間内に相手より生き残りが多いか、敵陣地の旗を奪うかで競われます。小学生、レディース、一般の部に分かれ、入賞チームには賞金が出ます。村内外から多くのチームが参加し、昨年は66チーム、約500名が熱戦を繰り広げました。競技のほかにも、雪でできた巨大滑り台や巨大かまくら、スノーモービル試乗体験、村特産試食コーナーが設けられるなど、体験型のイベントです。  
<http://www.net.pref.aomori.jp/temmabayashi/>

### 山内の雪まつり

秋田県山内村



開催日 : 2月8日(日)  
開催場所 : 山内小学校正面広場  
お問い合わせ先 : 山内の雪まつり実行委員会 電話0182-53-2178  
山内村の中心地の土淵地区にある、山内小学校正面広場を会場に行われる雪まつりです。雪を利用したすべり台や雪像コンクール、いろいろな楽しみゲームなどが行われ、冬の寒さを吹き飛ばすおまつりです。また、夜には冬の夜空をきれいに彩る花火「小」会も行われます。

### 気仙沼天旗まつり

宮城県気仙沼市



開催日 : 2月15日(日)  
開催場所 : 気仙沼市商港岸壁  
お問い合わせ先 : 気仙沼湾観光協会 (0226-22-4560)  
気仙沼の冬の風物詩である「天旗」。昔から気仙沼では、凧のことを天旗(てんばた)と呼び、大漁や豊作の願いを込めます。正月には魚問屋などが屋号を染め抜いた大きな天旗を海に向かって競って揚げ、港を賑わせたといわれています。天旗まつりは、歴史と伝統の中で受け継がれてきたこの凧揚げを体験しようというまつりです。色鮮やかな「日の出凧」、気仙沼地方独特の図柄の「屋号凧」などが揚げられます。大会では小型、中型、大型、連凧の4部門で競い、上位者には賞品が送られます。港に吹き付ける寒風に悠々と大空を舞い、駆けめぐる天旗の姿は見事で、見る人を魅了します。

### 第5回 袋田の滝氷瀑まつり

茨城町大子町



開催日 : 平成15年12月27日~平成16年2月1日  
開催場所 : 袋田の滝周辺  
お問い合わせ先 : 02957-2-1111  
氷結した袋田の滝をライトアップし、幻想的な滝を觀賞していただくとともに、地域の方々の芸術(踊りや歌等)を披露し、冬の袋田の滝を楽しんでいただくイベントです。  
氷結した袋田の滝は、大変珍しく魅力いっぱいです。

岩手県水沢市

黒石寺蘇民祭



開催日 : 1月28日(水)  
 開催場所: 岩手県水沢市黒石町 黒石寺  
 お問い合わせ先 : 黒石寺蘇民祭保存協力会 0197-26-3819  
 厳寒の旧暦正月7日の夜から翌朝にかけて行われる“裸の男と炎の祭”。厄払いと五穀豊穡を祈願して古式にのっとり、裸参り、柴燈木登り、別当登り、鬼子登りと夜を徹して行われる。翌早暁にかけて繰り広げられる蘇民袋の争奪戦は、この祭のクライマックス。厳寒をものともせず裸の男達のエネルギーが激しくぶつかり合う勇壮な奇祭。  
 当日、東北新幹線水沢江刺駅・JR水沢駅発の臨時バスを運行。  
<http://www.city.mizusawa.iwate.jp/>

南房総フラワーマーチ

千葉県千倉町



開催日 : 3月6日(土)7日(日)  
 開催場所: 千倉町を中心として周辺市町の一部がコースとなっています。  
 お問い合わせ先: 千倉町役場企画商工観光課 0470-44-5616  
 南房総フラワーマーチは、毎年3月に南房総の一大イベントとして開催されています。本大会は、日本マーチングリーグ(JML)及び、国際市民スポーツ連盟(IW)など4つの団体に認定されている大会です。  
 心地よい春風と潮風の香る北コースと一面に咲き誇る花々に出会う南コースを思う存分に楽しんで下さい。  
 心よりお待ちしております。 <http://www.town.chikura.chiba.jp>

第49回 伊豆大島椿まつり

東京都大島町



開催日 : 1月31日(土)~3月28日(日)  
 開催場所: 大島公園椿プラザ、元町港船客待合所他  
 お問い合わせ先: (社)大島観光協会 04992-2-2177  
 東京から南に約120kmの洋上に浮かぶ大島は、伊豆諸島中最大の大島で「三原山・椿・あんこ」で全国的に知られています。  
 一年を通して温暖な気候は四季おりおりの花を咲かせますが、中でも300万本あるといわれる「やぶ椿」は秋から春にかけて島全体を赤く染めます。そんな中、1月31日から3月28日まで「伊豆大島椿まつり」が大島を挙げて開催されます。期間中は、都立大島公園椿プラザをメイン会場とし、あんこさんによる民謡踊りの披露、大島町開発総合センターでは日本一と自負する「椿展」が開催されるほか、元町港船客待合所では、スーパーあんこによるダンスも披露されます。

<http://izu-oshima.or.jp> (大島観光協会)

初日の出を見る集い

山梨県山梨市

開催日 : 1月1日(元旦)午前6時から9時(時間については予定)  
 開催場所: 笛吹川フルーツ公園フルーツセンター  
 お問い合わせ先: 0553-23-5111  
 笛吹川フルーツ公園イベント実行委員会では、平成16年1月1日に今年で9回目となる恒例のイベント「初日の出を見る集い」を開催します。場所は笛吹川フルーツ公園フルーツセンターです。時間は午前6時から午前9時までです。標高600mのフルーツセンターは、富士山と御来光を両方見られる絶好のポイントとして、大変人気があります。また、当日は早朝からいらっしゃる来園者の方にあたたかい飲み物のサービスをいたします。新日本3大夜景にも選ばれたフルーツ公園からのすばらしい夜景と、そこから見える感動的な初日の出をぜひご覧下さい。  
<http://city.yamanashi.yamanashi.jp/>

## イベント情報

### 雪譜まつり

新潟県塩沢町



開催日 : 2月21日(土)  
開催場所: 塩沢町公民館グラウンド・多目的ホール  
お問い合わせ先 : 塩沢町商工会 125-782-1206

江戸時代の文人、鈴木牧之(1770~1842)の著書「北越雪譜」に集大成された豪雪地「塩沢」の伝統工芸(織物産業・雪の生活・雪の文化)発展の祈念と、鈴木牧之を偲び、顕彰するために行われる雪の中の幻想的なお祭りです。会場に1000本近いローソクがともされると、あたりは幻想的な雰囲気にもまれ、山伏による大護摩法要や、雪中歌舞伎など、雪国の生活と文化を体験でき、アフタースキーにも好評です。 <http://www.shiozawa-rta.gr.jp>

### 月岡温泉どんどまつり(下駄供養祭)

新潟県新発田市

開催日 : 2月22日(日)  
開催場所: 月岡カリオンパーク及び温泉街  
お問い合わせ先: 月岡温泉観光協会 0254-26-3620

旅館やホテルにとって下駄は欠かせない商売道具です。日ごろ世話になっている下駄に感謝し、その供養と月岡温泉の発展を祈る行事です。上半身裸の若衆200人がたいまつ片手に温泉街を威勢よく駆け抜けます。会場に到着すると、使い古した下駄数百足が積み上げられた高さ10メートル余りの塔(賽の神)を囲み、花火とともに一斉に点火します。夜空に燃え上がる炎は雪を照らし、幻想的な世界を造りだします。

<http://www.tsukiokaonsen.gr.jp>

### 左義長まつり

滋賀県近江八幡市



開催日 : 3月中旬(14・15日に近い土・日曜日)  
開催場所: 日牟礼八幡宮

お問い合わせ先: 近江八幡駅北口観光案内所(0748-33-6060)  
織田信長も異粧華美な姿で踊り出たと『信長公記』にも記される天下の奇祭。国選択無形民俗文化財にも指定されています。左義長は藁で編んだ高さ約3mの松明の上に、赤紙とよばれる細長い紙などで飾り付けられた数mの笹を立て、中心には穀物や海産物でその年の干支をあしらった「だし」が据え付けられます。圧巻は「けんか」と呼ばれる左義長同士のぶつかり合い。女装姿の若衆に担がれた左義長が境内各所でぶつかります。そしてクライマックスは夜の奉火。左義長は大きな炎に包まれ、若衆たちがその周りを乱舞し湖国に春の訪れを告げます。 <http://www1.ocn.ne.jp/~omi8/>

### 第6回 浜坂みなとホタルイカまつり

兵庫県浜坂町



開催日 : 3月下旬~4月上旬  
開催場所: 浜坂漁港セリ市場(予定)  
お問い合わせ先: 浜坂みなとホタルイカまつり実行委員会  
(浜坂町観光協会) TEL 0796-82-4580

3月下旬~4月上旬、浜坂の春を知らせるホタルイカの水揚げが最盛期を迎えます。浜坂は「ホタルイカの水揚げ日本一」を誇っており、新鮮で栄養満点のホタルイカが楽しめます。クレーンでつる大釜を使った「ホタルイカの釜揚げ」をはじめ、たくさんの美味しいホタルイカ料理を味わうことができるほか、地元の農産・特産品を販売するコーナーなど春の浜坂を存分に満喫できること間違いなしです。

詳しい内容は、2月下旬~3月中旬にかけて皆様にお届けできると思いますのでお問合せください。

<http://www.hamasaka.com/>

みと町梅まつり

兵庫県御津町



開催日 : 2月11日(水)  
 開催場所: 自然観察公園「世界の梅公園」  
 お問い合わせ先: 御津町総務課 07932-2-1001  
 「世界の梅公園」では、観梅の始まりを告げる「みつ町梅まつり」を今年も2月11日に開催します。中国、台湾、韓国をはじめとした世界の梅、約350種類を集めた「世界の梅公園」は、中国風の建物と梅とが調和し独特の情景をつくりだしています。  
 当日は、芝生広場の特設ステージで、文化協会による芸能発表、キャラクターショー、お笑いステージを開催します。また、鯛すくいや梅にちなんだオリジナルの企画もあり、地元特産品を試食、販売する模擬店も数多く出店され、一日中楽しめる内容となっています。

参加費は無料ですので、是非ご参加ください。 <http://www.hamasaka.com/>

鹿せんべいとばし大会

奈良県奈良市

開催日 : 3月20日(土)  
 開催場所: 若草山1番ゲート中腹  
 お問い合わせ先 : 奈良若草山観光振興会 0742-22-3626  
 特大の鹿せんべいを1枚ずつ飛ばす競技で、一番遠くまで飛ばした人が優勝。午前10時から受付が始まり、11時から予選、午後から決勝大会を行う。優勝者には奈良の鹿愛護会より、「春日の鹿の角」が進呈されるほか、参加者全員に参加賞がある。

節分万燈籠

奈良県奈良市



開催日 : 2月3日(火)  
 開催場所: 春日大社  
 お問い合わせ先 : 春日大社 0742-22-7788  
 祭典後舞樂が奉納され、参道に並ぶ石燈籠と朱塗りの回廊を飾る釣燈籠、計約三千基に点火される。ほのかに照り映える社殿の荘厳さと調和して、南門付近や若宮神社に続くあたりは神秘的な光景に彩られる。また、回廊沿いの御手洗川には、水面に映る幻想世界が現出し、毎年多くの参拝者でにぎわう。

写真: 奈良市観光課

鹿寄せ

奈良県奈良市



開催日 : 1月18日(日)~3月15日(月)  
 開催場所: 春日大社飛火野  
 お問い合わせ先 : 奈良の鹿愛護会 0742-22-2388  
 明治25年に始まった行事で、フレンチホルンの音色で飛火野の鹿を集める。奈良のシンボルとして親しまれている鹿は、古来、春日大名神が常陸の国・鹿島より白鹿に乗ってこの地に現れたという伝説から、神鹿として大切に保護されてきた。鹿は現在約千二百頭を数え、昭和33年には国の天然記念物にも指定されている。

写真: 奈良市観光協会

## イベント情報

### 天野の御田祭

和歌山県かつらぎ町



開催日 : 1月18日(日)  
開催場所: かつらぎ町上天野230 丹生都比売神社  
お問い合わせ先: 0736-26-0102  
七人によって演じられる御田の祭は、和歌山県の無形民俗文化財に指定されています。平安時代に天野社神殿で行われていた巫女による御田植の儀式が、時代と共に変わってゆき、江戸時代初期の姿が今に伝えられ、毎年一月第3日曜日に神前楼門の下で奉納されます。田人・牛飼・一石・早乙女・田づ女・れいの坊により、五穀豊穡を祈って舞う行事は、変わった形の御田の舞と言えます。村人はこの日、おまじりのあと牛宝札と福引を楽しみ、福種をいただいて帰り、その年の農作業に備えることになっています。

### 火渡り秘法(十輪院 春の大祭)

広島県府中市



開催日 : 2月11日(水)  
開催場所: 広島県府中市鷓飼町 十輪院  
お問い合わせ先: 十輪院  
十輪院は厄除大師として人々の信仰を集めています。ここで旧暦1月21日の初大師の縁日に行なわれる伝統行事です。無病息災や家内安全を願って護摩木を燃やした灰の上を裸足で渡るこの行事は、備後路に春を告げる行事として親しまれています。また、境内には「珀明洞」と呼ばれる全長約100mの洞窟があり、33体の観音様が安置されています。 <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp>

### ビッグひな祭り

徳島県勝浦町



開催日 : 2月22日(日)~3月7日(日)  
開催場所: 勝浦町民体育館  
お問い合わせ先: 勝浦町役場産業振興課 08854-2-1505  
ビッグひな祭りは、平成元年から勝浦に春を呼ぶイベントとして始まり、毎年二月下旬から三月中旬まで開かれています。(入場料二百円)会場中央にピラミッド状の百段のひな壇がそびえ、周囲に大小三百段のひな壇に、全国から寄せられた一万五千体のひな人形が優雅に来場者を迎えます。現在、日本に春を告げるイベントに発展し、人形を通じての国際交流へと拡がりを見せています。また期間中には「ひな行列」があり、内裏様、お雛様を先頭に三人官女、五人ばやし、かわいい稚児さん、パフォーマンスの扮装による参加などがあり、祭りに花を添えています。

### 第15回夢たちばな観梅会

福岡県立花町



開催日 : 2月14日(土)~2月22日(日)  
開催場所: 八女郡立花町大字谷川 谷川梅林  
お問い合わせ先: 立花町観光協会 0943-23-5141  
九州有数の梅の産地、光友梅林一帯は九州の梅の三名園とされています。約80haの広大ななだらかな斜面いっばいに咲き誇る約3万本の白梅は、訪れる人の心に深い感動を与えてくれます。朝夕にまだ寒さが残っていても、春の明るさが確かに感じられる季節...。長かった冬ごもりに終わりをつげ一斉に生命の芽吹きを身近に感じ、春めく日々の歓びを美しく、優しげに奏でる観梅会は毎年2月に開催しています。また、会場に隣接するワインセラー一帯では、

キウイワインや特産品、工芸品の販売、各種イベントなど、県内外からの観光客で賑わいを見せています。立花のこの季節は、観梅会場以外の所でも、白梅の美しい風景が広がっています。

<http://www.town.tachibana.fukuoka.jp>

虹の松原春まつり

佐賀県唐津市



開催日 : 3月最終日曜日  
 開催場所: 虹の松原一帯  
 お問い合わせ先: 観光課 0955-72-9127  
 「虹の松原」は、日本三大松原の一つに数えられ、国の特別名勝や数々の指定及び「日本の百選」(日本の渚、森林浴の森、日本の道)に選定されるなど、唐津・東松浦地域の誇りある財産です。最近では、NHK「21世紀に残したい日本の風景」で全国5位に選出されるなど多くの国民の皆様にも親しまれています。  
 このような虹の松原を舞台に、「虹の松原春まつり」では、松原の保護・愛護思想の普及と地域振興を目指して、松原全体を歩行者

天国として市民に開放します。

また、隣接自治体と協力し、松原清掃、小学生駅伝大会、物産市、ガレージセール、献血キャンペーン、ウォークラリー、オリエンテーリング大会など各種イベントも行っています。

この開放された虹の松原をゆっくりと歩いてみてはいかがでしょうか? <http://www.city.karatsu.saga.jp/>

第1回全国グリーン・ツーリズムネットワーク熊本大会

熊本県



開催日 : 2月28日(土)~29日(日)  
 開催場所: 水俣市  
 お問い合わせ先: 熊本県企画振興部地域政策課 総務企画班  
 096-383-1111(内3576)  
 「もやい・つどい・みなまた ~風と緑と水のかたらんかい~」をテーマに熊本県では、グリーン・ツーリズム実践者の方を中心に、手作りによる全国大会を水俣地域で開催することとなりました。全国から集まった実践者、愛好家の方々とそれぞれの悩みや実践例など語らいネットワーク作りを手を広げていきましょう!多数のご参加を心よりお待ちしております。

山鹿灯籠浪漫 百華百彩(やまがとうろうろまんひゃくかひゃくさい)

熊本県山鹿市



開催日 : 1月23日(金)~2月21日(土)  
 開催場所: 八千代座、豊前街道沿いほか  
 お問い合わせ先: 山鹿温泉観光協会 0968-43-2952  
 期間中の毎週金、土曜日は、山鹿灯籠踊り保存会と山鹿太鼓による芝居小屋「八千代座」での競演。静と動の郷土芸能が旅情をかき立ててくれます。舞台となる八千代座は、明治43年に建築された国の重要文化財。

豊前街道では、紅白の番傘を使った灯りの演出やかがり火によるライトアップなどで歴史的町並みが優しく浮かび上がり、幻想的な風景をかもし出します。

また、市内の旅館、ホテルでは、山鹿特産の野菜・果実・すっぽん・馬刺しなど、熊本の味覚満載の宿泊プランも用意されています。

中山神社大祭

宮崎県門川町



開催日 : 1月7日(水)  
 開催場所: 中山神社  
 お問い合わせ先: 門川町企画商工水産課 0982-63-1140  
 中山神社は天安元年(西暦857年)文徳天皇の御代に出雲大社から勧請創建された社です。この大祭では、年男がふんどし姿で参拝する裸参りが有名です。縁結びの神、手足の神、商売繁盛の神、開運の神、火の神として尊崇され、その日は植木市も出るなど参堂はたくさんの露天が立ち並び、参拝客でいっぱいになります。交通手段は、JR門川駅から車で約5分、門川駅より中山神社まで臨時バスが随時運行予定です。

## イベント情報

### 大東大原水かけ祭

岩手県大東町



開催日 : 2月11日(水)

開催場所: 大原商店街

お問い合わせ先: 水かけ祭り保存会(大原公民館内)

TEL(0191)72-2282

祭りの由来は、今から340年以上前、1657年江戸城の天守閣が焼失したこの日を厄日と定め、火防祈願と火防宣伝の2つを兼ねた祭りとして始まったと伝えられています。後年、厄払いの意味が加わり、近年では諸願成就のための参加者も増えています。上半身裸で白木綿の腹巻きにわらじ履きという厄男達百数十名が冷たい神水で全身を清め集合地点に向かいます。打ち上げ花火を合図に、男達は町に向かって駆け出します。沿道で桶を持って待ち構えた人々が、清め水を浴びせかけます。その水が湯気になり、白い霧に包まれると祭り気分も最高潮に達します。北に生きる者のバイタリティーを感じずにはられません。 <http://www.town.daito.iwate.jp/>

### 第6回 えちごかわぐち物語'04冬 雪洞火ぼたる祭

新潟県川口町



開催日 : 2月7日(土)~8日(日)

開催場所: 蒼丘の杜公園 多目的広場

お問い合わせ先: 雪洞火ぼたる祭実行委員会事務局

(川口町企画商工課) 0258-89-3112

「雪」と「灯り」をキーワードにした冬の祭典です。

ホタルをイメージした雪洞(かまくら)が広がる「雪洞火ぼたる村」をメイン会場に、雪上で果敢に競う「勇壮タイムツ競争」、野の幸・山の幸・川の幸をテーマとした「食の幸めぐり」、フルーツ・オカリナなどのファンタジックステージ、フィナーレには雪上スターマインが冬の夜空に花開きます。

また、町のいたるところに設置された4万本の口ウソクの雪灯りは必見です。

以上の情報の収集に当たりましては、都道府県関係課の多大なるご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

## 事務局からのお知らせ

### 皆様からの情報提供をお待ちしております

季刊誌「新往来」は皆様からお寄せいただいた情報で構成されています。地域の自慢やイベントの案内など全国に向けて発信したい情報がありましたら是非ご連絡下さい。なお、次号(第12号)につきましては、平成16年3月頃の発行を目標としております。1月下旬から編集作業に入りたいと考えておりますので、その頃までに各都道府県又は下記連絡先まで御連絡下さい。全国各地の方々に「交流」に関する多くの情報の発信を行うため、皆様からお寄せいただいた情報については、できる限り掲載するよう努めておりますが、誌面スペースの関係上掲載できない場合もありますので、あらかじめご了承下さい。なお、農林水産省のホームページでは、皆様からお寄せいただいた情報を掲載しております。一度ご覧下さい。

### 原稿の提出方法について

・「イベント情報」以外の各記事につきましては、**原稿400~500字程度**並びに記事に関連する**写真・イラスト**などを添えて提出して下さい。

・「イベント情報」につきましては、**原稿200~300字程度**並びに、「開催日」・「開催場所」・「問い合わせ先」の必要事項を添えて提出して下さい。関連する写真などがありましたら併せて提出して下さい。

**編集・発行: 農林水産省農村振興局農村政策課** (担当=松本・清水・村田)

東京都千代田区霞が関1-2-1 〒100-8950

TEL:03-3502-8111(内線:4619) FAX:03-3595-6340